

**【鹿屋市】**  
**校務DX計画**

**1 現状及び成果**

本市では、統合型校務支援システムを導入している。セキュリティの確保のため、指導者用GIGA端末で使用する学習系ネットワークと校務系のネットワークは分離している。

校務共有システム（See-Smile）で教師間の連携を図り、校務支援システム（スズキ校務）により、出席簿・名簿・通知表・指導要録・健康診断票等のデータを一元管理し、デジタルで管理することで、校務の効率化が図られている。

**2 校務DX化の課題**

学習系データと校務系データが分離しているため、連携が十分に行えていない状況である。校務のDX化に向け、ゼロトラストのシステム導入について検討を行い、学習系データと校務系データをシームレスに活用できるよう取り組む必要がある。特にダッシュボード型の教育データの一元管理を行うことで、児童生徒1人1人の学習状況を包括的に把握できるように検討を進めていく。

**3 校務DX化の今後の計画**

**（1）クラウドサービス活用の拡充**

- ・マイクロソフトTeamsをはじめとするコミュニケーションツールを活用し、チャット及びファイルの共有化などを推進する。
- ・保護者用の連絡ツールや自動採点ツールなど、様々なクラウドサービスに関する調査や研究を行い、導入の在り方について検討する。

**（2）校務における生成AIの活用推進**

国や県の動向を踏まえ、生成AIの仕組みの理解や、学びに活かす力を育むことは重要であるという認識のもと、情報モラルを含めた適切な利用について今後検討を進めていく。

**（3）校務支援システム等の更新に向けた検討**

現在の環境に対する課題や、次期環境に向けた要望等を把握したうえで、次世代型校務支援システムについて、関する調査を行い、導入に向けた検討を行っていく。